

暁鐘

ぎょう

しょう

第 120
R6.8.1

大山公民館だより【679】



日田市大山公民館
日田市大山町西大山 3600 番地
TEL:0973-52-3255 FAX:0973-52-3315
ホームページ <http://www.hita-k.org/oyama/>
メールアドレス:oyama-k@hita-net.jp

5日間集中 スマホ基礎講座 参加者募集！

【日 程】 9月4日(水)、5日(木)、6日(金)、9日(月)、10日(火)

【時 間】 13:30～15:00

【場 所】 大山公民館

【内 容】 基本操作、文字入力、インターネット検索、アプリダウンロード他

【講 師】 宮崎 友彰さん

【対 象】 大山地区在住の成人一般

【定 員】 8名

【参加費】 500円(初日に徴収します)

【準備物】 スマートフォン、筆記用具、水筒

【申込方法】 1 右の QR コードから申し込み

2 電話にて申込み(大山公民館 ☎52-3255 平日 8:30～17:00 の時間帯)

3 下の申込用紙に必要事項を記入しファックスにて申し込み

(大山公民館 FAX 番号 0973-52-3315)

1.2.3いずれかの方法で氏名、住所、携帯番号、スマホ機種をお知らせください。

※スマホの操作で講師に聞きたいことがあればその内容を記入してください。

申込締切日 8月16日(金)まで ※但し定員に達し次第締め切らせていただきます。



こちらの QR コードから申し込みます

き り と り

大山公民館様

スマホ基礎講座に申し込みます。

申込締切日:令和6年8月16日(金)

FAX 番号 0973-52-3315

<氏名>	スマートフォンの OS(どちらかに○) Android ・ iOS (Xperia など) (iPhone)
<住所> 町 西 番地 東	電話番号(連絡の取りやすい番号)
<スマホ操作で聞きたいことがあれば記入してください。>	

1日限定！カブトムシとクワガタ展

大山小学校に通う兄妹がおうちでたくさんの種類のかぶとむしとクワガタを飼育しています。この度地域の皆さんに「カブトムシとクワガタの魅力伝えたい」と、1日限定の展示会をおこないます。

日時 8月22日(木) 13:00~16:00

場所 大山公民館 101談話室

入場料 無料



兄妹がカブトムシとクワガタを飼育しはじめたのは4年ほど前から。大山で「ヒラタクワガタ」「ミヤマクワガタ」「コクワガタ」「スジクワガタ」「ヤマトカブトムシ」などを採集しています。生きているものと標本とで20種類ほどあります。海外種の飼育を始めたのは妹さんが「パプアキンイロクワガタ」に魅了されたことがきっかけです。世界最大級のカブトムシ「ヘラクレス」の標本もあります。

幼虫から育てたり、成虫から卵をとって育てたりもしています。問い合わせ先 大山公民館 ☎52-3255

夕涼み マルシェ開催します

主催 大山スマイルシェ実行委員会

日時 8月10日(土) 17:00~21:00

場所 大山文化センター

※駐車場は旧大山振興局跡地です。

キッチンカーや新鮮無農薬夏野菜が並びます。スイカの早食い、ラムネ早飲み、大じゃんけん大会、線香花火大会などのイベントがあります(景品あり) 問い合わせ先 大山スマイルマルシェ実行委員会(朝倉) ☎52-3356

【同時開催】

大山文化センター主催によるワークショップ「ウォーターペンライト」作り 先着30名様(無料) 17:30受付(整理券配布) ※当日受付となります 18:00~1回目 19:00~2回目

巡回健診のおしらせ

大山地区巡回健診

会場 大山公民館

日にち 10月22日(火)

定員 70名

受付時間 午前8時30分~11時

巡回健診を受けるためには予約が必要です。

予約専用電話番号 0120-720-770(予約受付コールセンター 受付時間 平日 10時~17時)9/30まで ※10/1以降の予約はウェルピアまで ☎24-3000

♪集落の活動をちょっと拝見♪

都築「通いの場」



本年度から毎週金曜日午前10時から都築コミュニティーセンターで「通いの場」がはじまりました。これは南部包括支援センターの働きかけによるもので、地域の方の「ココロとカ

ラダの健康づくり」を目的としています。ラジオ体操や椅子に座っての運動を1時間程度おこなっています。



中間集落では長寿会主催(中間自治会協力 自治会長 菅原義博)のミニデイを毎月第2金曜日に中間公民館で開催しています。

6月のミニデイでは、防災士の藤原精三さんとNPO 法人リエラ代表の松永鎌矢さんをお招きし防災講座をおこないました。

講座では参加者が実際に段ボールベッドを組み立てる体験をした後、集落支援員の三笠さんと岡部さんによる防災食の紹介があり、参加者で試食をしました。

女性セミナー



6月12日に開催した第1講では、立花いづみさんと高野利恵さんを講師にお招きし「シフォンケーキ」作りを行いました。家にある材料でできるシンプルな作り方ですが、参加者はふんわり焼き上げるためのコツを知ることができました。

7月10日の第2講は社会で活躍している女性の話しとして大鶴の井上酒造株式会社社長の井上百合さんに「伝統を継ぐ」と題し講演していただきました。

大山っ子チャレンジ教室



第2講では講師の石松聡美さんをお迎えして人権学習「心のスロープ」を6月22日に開催しました。

受講生10名は2人1組で車いすに乗って多目的トイレまで往復する体験と、アイマスクで目を覆い「白杖」を使って館内歩く体験をおこないました。点字器を使って自分の名前を打つ体験もしました。

児童は「目が不自由で方向が分からず困っている人がいたら助けてあげたい」と話しました。

地域の方が児童に書写指導



7月16日、大山小学校3年生と4年生の書写の授業において地域の方がサポートを行いました。

中川原の川邊キヨミさんと川津靖子さんが教室内をまわりながら児童一人ひとりに「とめ」「はらい」など丁寧に指導していただきました。

ペットボトル風車を作りました



7月17日、いきいき大学第3講は「くらしとゴミ」をテーマに日田市環境課の職員から正しいゴミの分別のしかたを教えていただきました。

受講生はそのあと川津館長の指導で「もぐら除けペットボトル風車」を作りました。全員が上手に作り上げ、色テープでカラフルに飾りつけをしました。

絵本のワークショップ～西峰



7月17日に西峰コミュニティーセンターで出張講座を開催し、7名が大分県人権啓発講師の石松リエさんによる絵本ワークショップに参加しました。

公民館の大掃除をしました



7月20日に公民館教室生と公民館運営委員35名が大山公民館・大山文化センター内の窓ふきと周辺の草刈りをおこない施設がきれいになりました。

大山公民館 今後の予定

8月 7日(水)～8月9日(金) 大山っ子チャレンジ教室夏合宿(朝日・前津江公民館と合同)

場所 熊本県立あしきた青少年の家

8月19日(月) 南部出張講座 10:00～11:30 場所 まつばら館

内容「リンパマッサージ」 講師:宮田寿望さん

8月21日(水) 女性セミナー 19:30～21:00 場所 大山公民館

内容「レジンクラフト」 講師:尾形喜絵さん

9月 7日(土) 大山っ子チャレンジ教室

かっぱリング(筑後川上下流域交流事業 環境学習) 場所 福津市

9月11日(水) 女性セミナー

内容 視察研修 研修先 フンドーキン工場、臼杵石仏、野上弥生子文学記念館

9月18日(水) いきいき大学

内容 視察研修 研修先 南蛮ぶんど交流館 別府市竹細工伝統産業会館

9月25日(水) みんなの料理教室 10:00～13:30

内容「トマトソースパスタ」 講師:穴井喜文さん

下記の期間は職員不在です。皆様にはご迷惑をおかけいたします。

○8月7日(水)～9日(金) 大山っ子チャレンジ教室夏合宿引率

○8月14日(水)15日(木) お盆期間

○8月29日(木) 市外出張

熱中症一時避難所として

大山公民館・大山文化センター
をご利用ください

大山公民館 平日9:00～17:00

大山文化センターは土日と同じ時間帯は開いています。大山文化センター内に自動販売機あり。

外の活動中に暑さから少し逃れたい、休憩したい時は遠慮なく施設にお立ち寄りください。

(大山町の昔ばなし)

千丈淵の龍神様②

人々は、この淵がどれだけ深いものかを知りたいと思いました。そして、龍神様のお住まいなら淵の底には神殿があるかもしれないと考えました。

そこで、千丈で一番水に潜ることが得意な若者が潜ることになりました。若者は、深呼吸を繰り返して一気に潜りました。かなり潜ったところで「おっ、足がついたぞ…いや違う。岩だなが切れているだけだ。」再び、その下に見える岩だなまで潜るとさらに岩だながあらわれてくるのです。

こうして、いくつもの岩だなをくぐり抜けたのですが、淵の底にはたどり着くことができません。若者は、息が苦しくなり浮き上がろうとしても方角がわからなくなってしまいました。

「こっちな…しまった…頭が岩だなの天井につかえてしまった…ああ、もうだめか…」もがきながら頭を大きくそらせたたん、すっと息が軽くなりました。なんと天井のくぼみにひんやりとした空気がたまっていたのです。

元気を取り戻した若者は、力強く水をかきぐんぐんのぼりはじめました。

「おう、無事だったか。」「おぼれたのではないかとみんなまで心配していた…よかった、よかった。」

淵の周りでは、人々が口々に喜び合いました。そして、岩だなの不思議な話を若者から聞くと「龍神様のお住まいに違いない!」と思うのです。(つづく)



千丈の龍神様まつり